

# 福祉教育について

～こどもの成長とともに～



# 「福祉教育」とは・・・

---

ふだんのくらしのしあわせをつくるための学び

主人公は、自分！！

福祉教育は、ふくしを我がごとにするきっかけづくり



# 「社会福祉」とは・・・

社会全体の福祉向上を目指し、すべての人々が、毎日の生活の中で幸せを感じられる社会を作り出すこと

## ＜社会福祉の根拠＞

憲法第13条 すべての国民は、個人として尊重される。

➡ 「幸福追求権」

憲法第25条 すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

➡ 「生存権保障」

子どもたちに  
必要な…

# 「知識教育」と「人間教育」

## 知識教育

個々の学力を向上させる

## 人間教育

自分自身が存在することに価値をみいだし、自分自身が  
価値ある存在であること（自尊感情）を自ら学ぶ

福祉教育の  
目的と一致



例えば…

## 地域での福祉教育の事例



地域の方から…

地域で生活している方の中に、精神障がいの方がいる。



周りの住民は接し方も分からず、当事者は孤立状態。



地域住民向けの精神障がいについての正しい理解と  
接し方を学ぶ機会を設ける

「精神保健福祉の基礎と理解」を実施

# 育成すべき資質・能力の三つの柱

学びに向かう力  
人間性等

どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を  
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか  
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる  
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等



# 主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」） の視点からの授業改善について（イメージ）

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすること

## 【主体的な学び】の視点

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。



主体的な学び  
対話的な学び  
深い学び

学びを人生や社会に  
生かそうとする  
学びに向かう力・  
人間性等の涵養

生きて働く  
知識・技能の  
習得

未知の状況にも  
対応できる  
思考力・判断力・表現力  
等の育成



## 【対話的な学び】の視点

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。



## 【深い学び】の視点

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。



# 社協の提案する福祉教育の展開

・関心を持つ **知る**



**気づき**

- ・当事者の生活
- ・当事者の思い
- ・ふれあい



**行動する**

- ・できることを実行する
- ・関わり合う



**考える**

- ・自分ができること
- ・学校・地域ができること
- ・学ぶ



# 子どもの成長と学び



学びの深化から  
課題の発見

高等学校  
・PDCAの実現



自分に何ができる  
か提案する


中学校  
・当事者ゲストの講話  
・振り返り、提案

「ふくし」を知る  
当事者との出会い

小学校  
・調べ学習・「ふくし」とは？  
・当事者ゲストの講話・まとめ学習



# 福祉教育における 小学校でのねらい

- ・福祉の対象を知る
  - ・当事者の生活を知り、関心を持つ
  - ・フィールドワーク等で、身近な福祉に気付く
- 

例えば… 講話（「ふくし」とは・ゲストのお話を聞く）  
高齢者の集まりに参加、交流・福祉施設や特別支援学校との交流  
学区内をフィールドワークなど



# 福祉教育における 中学校でのねらい

---

- ・ 当事者との対話を通し、同情心から理解・共感へ
- ・ 自分ができることを考え、提案する

例えば・・・中学校区内の高齢者の集まりに参加・交流  
職場体験（総合的な探求の時間）  
福祉施設との交流、訪問（総合的な探求の時間・家庭科等）

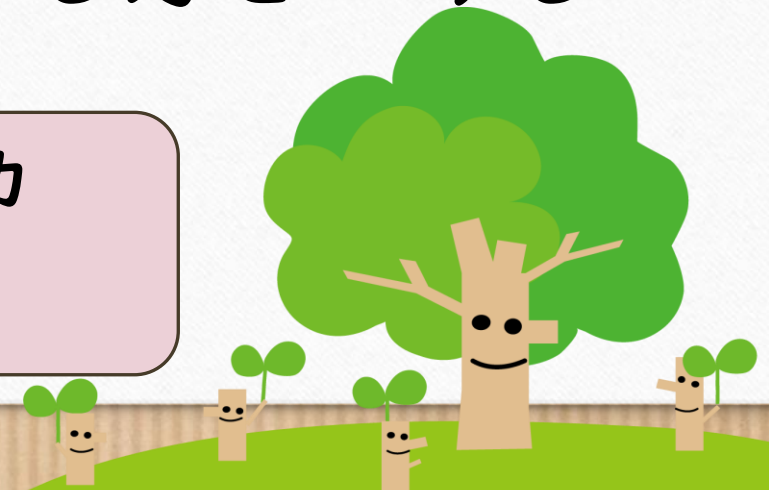


# 福祉教育における 高等学校でのねらい

---

- ・ 自分が出来ることを持ち寄り行動し、  
振り返り、改善する
- ・ 実践を通して、自ら行動する力をつける

例えば・・・ 高齢者の集まりなどへ参加、協カ  
インターンシップ  
ボランティア活動への参加





# 福祉教育は積み重ね

小学校・中学校・高等学校の「つながり」があるからこそ、福祉教育は深化します。積み重ねを意識して、福祉教育の展開を検討していきたいと考えています。

よろしくお願いいたします

